

2023

7月2日 日

午前の部

10:00~12:00

午後の部

13:30~15:30

- 講師 丸亀竹うちわ夢風 河野竹克
- 定員 各回とも12名(先着順)
- 受講料 3,000円(入館料を含む)
- お申込み方法
受付開始日 令和5年6月17日(土) 9:30~
阿波十郎兵衛屋敷へ電話、FAX、メールでお申込みください。
定員に達した時点で締め切らせていただきます。
- 助成:とくしま文化・未来創造支援費補助金

竹うちわ制作講座

丸亀うちわ 十土佐和紙 十阿波藍

四国3県の手仕事の粋を結集してつくる日本一心地よい風



■会場・お申込み

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
徳島市川内町宮島本浦184

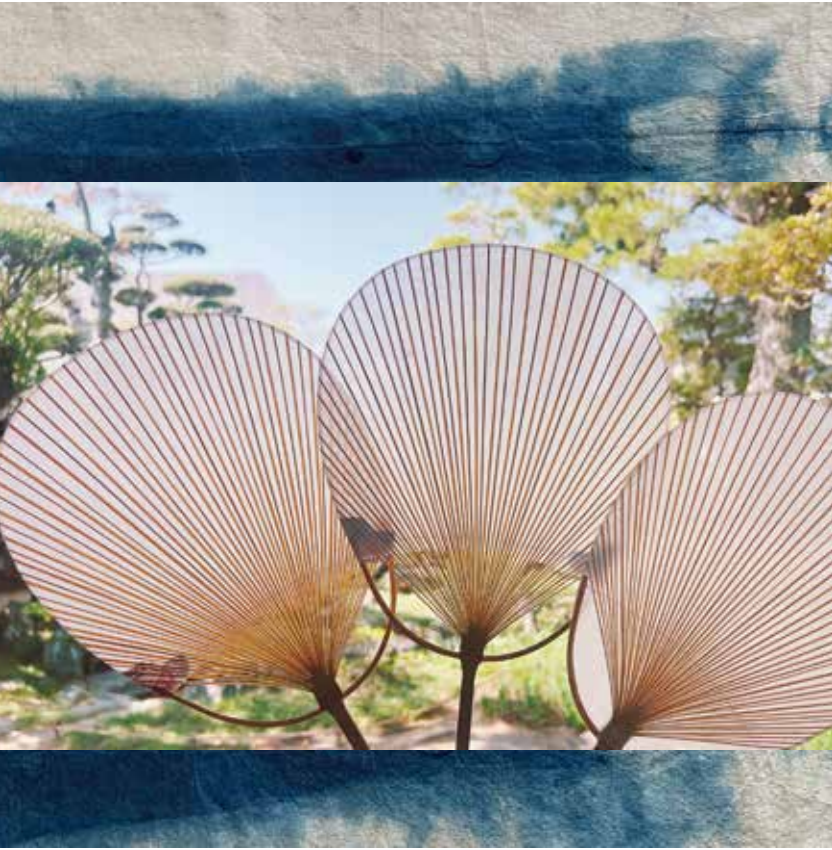
Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683
awajurobeyashiki@mf.pikara.ne.jp
<http://joruri.info/jurobe/>



講座内容

四国3県の手仕事の粋を結集したうちわの制作体験

- ①うちわの骨と藍染め和紙を選ぶ。
- ②貼立(はりたて)／和紙を貼って乾燥させる。
- ③うちわの制作工程を実演しながら解説。
- ⑤型切り／鎌を当て木槌で叩いて骨と和紙を切り落とす。
- ⑥へり取り／うちわの周囲に「へり紙」を貼る。
- ⑥耳貼り／うちわの両側に飾りの耳紙を貼る。



丸亀うちわ

丸亀は、年間1億本以上のうちわを生産し国内シェア9割の日本一の産地です。

うちわで最も重要なのは、骨のしなり具合と、扇いだ時の感触です。今回は「小割」と呼ばれる高度な技法で、通常の倍の約60本に細かく割いた骨を使います。茶色の骨と緑の皮付きの骨が交互に並び見た目も美しく、優しくやわらかな風が楽しめます。

土佐和紙

日本三大和紙のひとつ。中でも土佐典具帖紙は、手すき和紙でもっとも薄く、丈夫さもかね備えることから文化財の修復にも用いられています。その品質の良さから1973年に国の無形文化財に指定されています。小割のうちわの細かい骨に貼ることで、軽やかな風をつくります。

阿波藍

徳島は、藍染めの染料の日本一の産地です。草木染めで青は貴重な色ですが、徳島では、日本の三大暴れ川である吉野川が洪水とともに運んだ肥沃な土で、全国で最も品質の良い藍をつくることができ、全国の市場を独占するほどになりました。阿波藍で染めた土佐の典具帖紙は、この上なく涼やかな色合いを生み出します。



小型うちわプレゼント



講座で制作していただくうちわの他に、講師から、講座参加者に、かばんの中に入れて持ち運びもできるコンパクトなサイズの小型うちわをプレゼントします。

阿波人形浄瑠璃定期公演

阿波人形浄瑠璃の公演や展示室も、併せてご鑑賞ください。

【公演時間】11:00、14:00

【演目】「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」

